

---

# 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

## センターだより第200号(通巻第267号)

---

2022年7月29日 発行  
山梨大学教育学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790  
E-mail:jissen@ml.yamanashi.ac.jp  
URL: <https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/>

※このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

### ■「令和4年度 期間採用者等研修」の報告— 山梨県教育委員会・山梨大学連携事業 —

研修の機会が充分でない期間採用教職員等や教育に関する実践力を高めたい教員志望学生・院生を対象に、教育に関する基本的な理念、教職についての基本的な知識、さらには実践的指導力を身に付けるための研鑽の在り方等といった内容を主とした研修を開催しました。

連携する山梨県教育委員会には、講師のご推薦や案内状の県下全校への配布等、多岐にわたりご協力をいただきました。

次に紹介する参加者アンケートのとおり、好評のうちに研修を結ぶことができました。

#### 1 実施日時

令和4年5月21日（土） 8:30～12:30

#### 2 実施方法・会場

対面およびオンラインによるハイフレックス方式で開催（Y-15号教室他）

#### 3 実施概要

8:30～ 8:50 受付（オンライン入室許可）

8:50～ 9:00 開会行事 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター長 挨拶 等

9:00～10:00 研修1（全体研修）

「多様な学びの場※における特別な支援が必要な児童・生徒への指導等」

鷹野 美香（たかの みか）先生 山梨県教育庁特別支援教育・児童生徒支援課長

10:10～11:10 研修2（教科等指導法研修）

「児童・生徒をひきつける授業の工夫」

小学校 小林 知子（こばやし ともこ）先生 田富南小学校 教頭

中学校 櫻井 順矢（さくらい じゅんや）先生 船津小学校 教頭

高等学校 内藤 京（ないとう たかし）先生 甲府南高等学校 教頭

11:20～12:20 研修3（学級経営研修）

「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりのヒント」

小学校 山本 撰（やまもと おさむ）先生 貢川小学校 教頭

中学校 三枝 寛康（さえぐさ やすひろ）先生 石和中学校 教諭

高等学校 小林太郎（こばやし たろう）先生 日川高等学校 教頭

12:20～12:30 閉会行事

※「多様な学びの場」：通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校

#### 4 参加者の状況

R3応募者数 ( ) は現職院生				R4応募者数 ( ) は現職院生				増減	
研修1	76名			研修1	84名*			25	8
研修 2・3	19名 高等学校	所属	人数	16名 高等学校	所属	人数	対面		
		高等学校	12		高等学校	11	2	-1	
		特別支援学校	3		特別支援学校	1	1	-2	
		中学校			中学校			0	
		小学校	1		小学校			-1	
		教職大学院	3(2)		教職大学院	4(2)	1	1	
		学部生			学部生			0	
	その他		その他			0			
	20名 中学校	所属	人数	24名 中学校	所属	人数	対面		
		高等学校			高等学校			0	
		特別支援学校	2		特別支援学校			-2	
		中学校	11		中学校	9	4	-2	
		小学校	3		小学校	1	1	-2	
		教職大学院	3		教職大学院	7(3)	6	4	
	37名 小学校	所属	人数	39名 小学校	所属	人数	対面		
		高等学校			高等学校			0	
		特別支援学校	3		特別支援学校	2		-1	
		中学校			中学校			0	
		小学校	27		小学校	23	3	-4	
		教職大学院	5		教職大学院	4(2)	1	-1	
	学部生	1	学部生	9	4	8			
その他	1	その他	1		0				
				*研修1のみの応募者 特支1・院3・小1 計5					

応募者数所属別比較			
所属	R3	R4	増減
高等学校	12	11	-1
特別支援学校	8	4	-4
中学校	11	9	-2
小学校	31	25	-6
小計	62	49	-13
教職大学院	11	18	7
学部生	2	16	14
その他	1	1	0
小計	14	35	21
合計	76	84	8

R4 期間採用者等研修  
応募者数

#### 5 参加者アンケートより（一部）

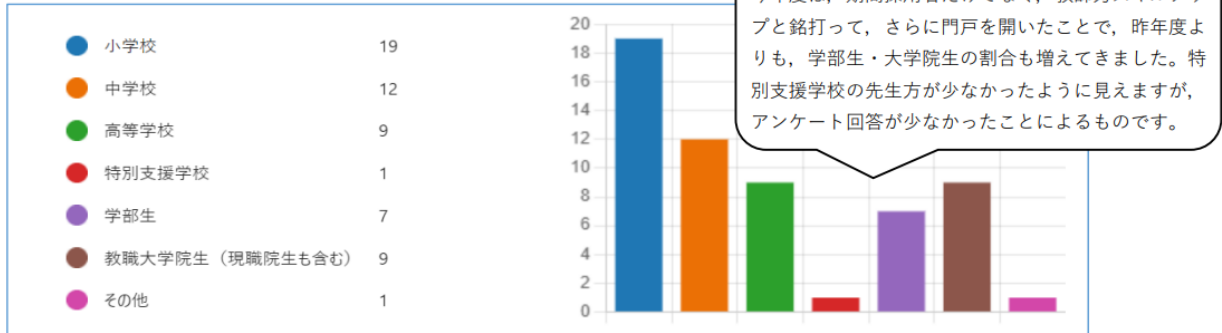
- 非常勤講師にもこうした学ぶ場を設定してくれて、改めて授業づくりや生徒指導について学ぶことができました。
- 研修1・2・3全てが勉強になりました。同時に自分の至らぬ点に反省しました。生徒を引きつける授業を工夫し、実際の授業を練り直さなくてはいけないと思いました。もう一度最初から、やり直していこうと思います。今回、この研修に参加でき、本当によかったと思います。貴重な時間を本当にありがとうございました。
- 現職の正規教員ですが、教員として新しいことや再確認できることがたくさんあり、実り多い機会をいただいたと思います。ありがとうございました。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 現場で働く中で、特別な支援を要する生徒の増加や、ニーズの高まりを感じると同時に、それにどう対応していくのか不安も大きかったため、今日のお話を聞いて勇気がもてました。
- 20年ぶりに学校に勤めています。わからないこと、変わってしまったことばかりです（パソコンに苦戦中です）。研修の中で教えていただいたことは、本当にわかりやすく、月曜日から学校で生かせそうです。時間がたつのがあっという間でした。もっともっとお話を聞かせていただきたいなと思いました。

## R4 期間採用者等研修・教師カススキルアップ研修 アンケートからの振り返り

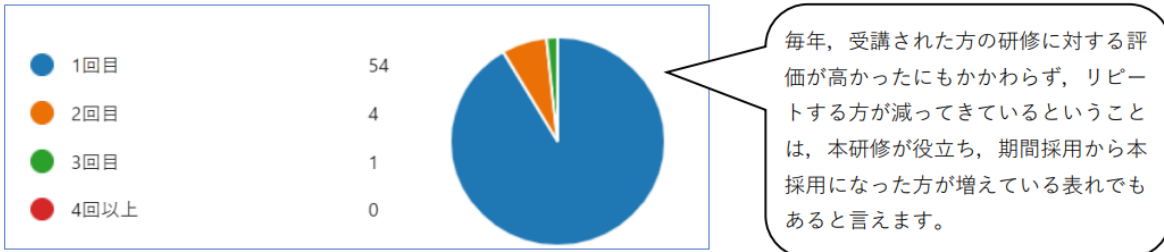
◆アンケート回答者数

59名

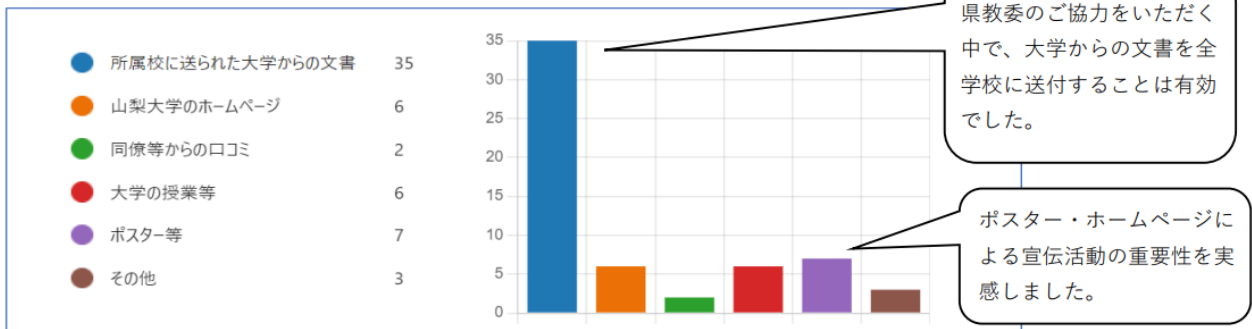
Q1.所属する学校種をお答え下さい 単位：人



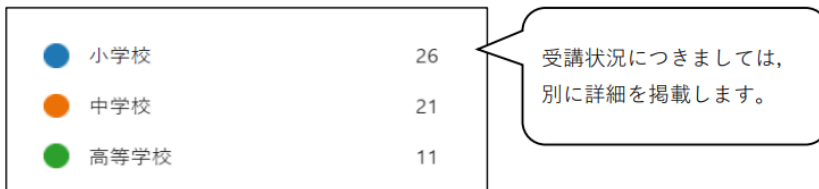
Q2.この研修を受講するのは何回目ですか



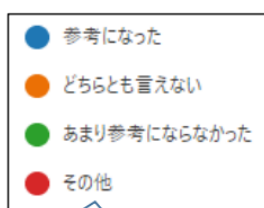
Q3.この研修をどのようにして知りましたか（複数回答可）



Q4.受講した分科会（研修2・研修3）の校種をお答え下さい



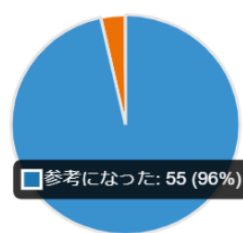
### Q5.6.7 「研修」の内容についてお答え下さい



高い評価がほとんどでした。講師の皆様に感謝いたします。



研修1 (全体研修)

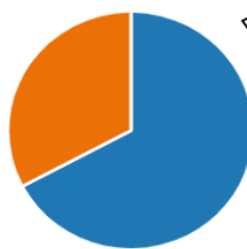


研修2 (校種別)  
(教科等指導法研修)



研修3 (校種別)  
(学級経営研修)

### Q1 本年度、教員採用試験を受験予定ですか。



教員採用試験受験予定者が7割近くいらっしゃるということは、今後も引き続き研修内容に、教員採用試験を見据えた喫緊の課題を取り入れていきたいと思えます。また、採用されてからの教師力アップに関わる内容も、バランスよく取り入れるようにいたします。

## ■令和4年度 第1回連携・教育研究会 実施報告

山梨県総合教育センターと山梨大学附属教育実践総合センターの連携により、第1回連携・教育研究会を開催しました。顔合わせを兼ねて、今年度の事業計画等を協議し、教育実践・研究に関する情報交換を行いました。

1 日時 令和4年5月30日(月) 【全大会】15:00～15:30

2 会場 山梨県総合教育センター

3 出席者

<実践センター>

古家教育学部長, 長谷川センター長, 中込司特任教授, 秋澤客員教授, 小川客員教授, 桐原客員教授, 河野客員教授, 斉木客員教授, 清水客員教授, 中込和彦客員教授, 蘆原客員教授, 樋口客員教授

藤原教授, 古屋教授, 川本准教授, 三井准教授, 角田准教授, 中込繁樹准教授

<山梨県総合教育センター>

篠原所長, 小尾次長, 中島次長, 田沢教育研究推進幹, 土橋管理部長, 丸山情報教育部長

玄間相談支援センター長, 清水研修指導課長, 上村業務推進主任, 三枝キャリアアップ研修主任

石原調査研究科主幹・指導主事

#### 4 協議内容

##### (1) 連携・教育研究会について

- ・令和3年度の実施状況と今年度の事業概要  
全ての内容について承認された。

##### (2) その他

- ・教員免許更新講習（中止），子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会について  
全ての内容について承認された。



#### 5 連絡事項

- ・研究支援の概要について

【分科会】15:30～15:50

全大会終了後、5つの分科会（小学校, 高等学校, 情報教育, 教育相談, 特別支援）に分かれて、自己紹介や研究の方向性等の確認を行った。



## ■「令和3年度 地域学習アシスト事業」の報告

※ 詳細は、以下6ページの案内をご覧ください。

## ■ センター事業（8月）

### ○子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会

#### －OPP シートによる学習・指導と評価の一体化－

※ 詳細は、以下7ページの案内をご覧ください。

★これまでのセンターだよりの一部は、下記で見ることができます。

<https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/2306/>

# 地域学習アシスト事業報告

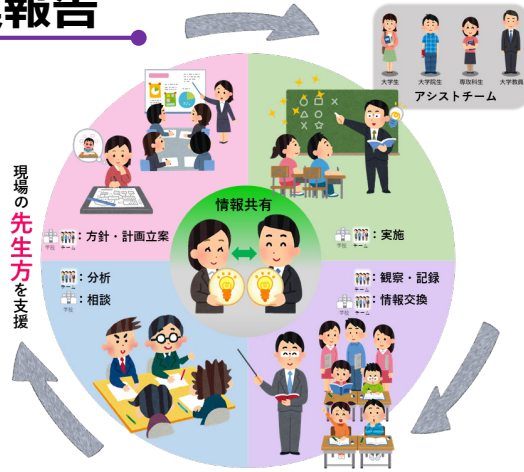
## 地域学習アシストとは？

- ✓山梨大学独自の取組として、令和元年度にスタートしました。教育ボランティア活動の発展形としての性格をもちます！
- ✓学校と大学が協働し、地域における学校の実情による課題の解決に向けて、学習支援を中心に、大学でチームを組んで学校をアシストしています！
- ✓学部生の活動を教職大学院生・専攻科生・大学教員等で組んだアシストチームにより、「チームカンファレンス」を通して支え、チーム力によって学校現場の今日的課題の解決に取り組む事業です！

直接子どもたちを支援



現場の先生方を支援



## 事業目的

### 「新たな課題に対応できる実践的な能力を身につけた教員の養成」

「地域学習アシスト」事業を実施することにより、学校現場で採用時から長期にわたり活躍できる実践的な能力を有する教員養成を行う。

## 事業方針

### 「学校現場の課題を学校と大学が共有し、協働して解決策を探る」

1. 学校現場の教師にとっても教員を目指す学生にとっても、双方にメリットがある事業にしていく。
  - ①学校は、各学校の実情に応じ、自校の課題の解決に向けた取組を大学で組んだアシストチームと共に行うことにより、よりきめ細かな指導の充実を進め、より良い教育の実現を図る。
  - ②学生は、これまでの教育ボランティア活動を深化させた子どもとの関わり方を通して、自身の指導方法や子ども理解を深める活動の機会にしていく。
2. 多忙な学校現場に、できる限り配慮した取組にしていく。

## 事業特徴

### 「教育ボランティア活動をベースに、その発展形となる新たなアシスト活動」

- 学校現場の課題解決に向けて、
1. チームカンファレンスを中心とした活動であること。  
(教育ボランティア活動は主に個人を単位とした活動)
  2. 学校の方針(要望)に基づいた、観察/記録-分析/相談-方針・計画立案-実施というサイクルで行う活動であること。なお、サイクルのどの段階から始めるかは、学校とアシストチームとの相談の上決める。  
(教育ボランティア活動は個々の支援が中心)

## 事業方法

### アシスト活動A

6月～10月頃  
学校の要望に応じて課題に対する必要な支援を行い、アシスト先の学級の実態をつかむこと、学校の教員や子どもたちとの関係づくり(信頼関係づくり)に努める。

### アシスト活動B

11月～2月頃  
チームカンファレンスを伴ったアシスト活動に移行する。



学部生の学びを支える「チームカンファレンス」の様子

## アシスト活動を終えての声

### 学部生

ボランティアとして子どもたちと関わるだけでなく、その時感じたこと・考えたこと・疑問に思ったこと等を話せる場があったことで質の高いアシストにつながった。

### 大学院生

大学生自身の課題を共有し、その課題について全体で検討する機会が非常に勉強になった。課題を活動回ごとに用意してくれていたのが、課題を焦点化して検討できたことがよかった。

### 学校

アシストでは、学部生が子どもを理解して支援する・育てるといった教師と同じ視点に立ち、指導者として主体的な活動をしようという意識が高まったように思う。

担任の先生や現職の先生方、アシストメンバーなどたくさんの人と同じ事例をテーマに考えられたことが一番よかったと思う。

アシストに行く学生は、もちろん実践的な学びをすることができたと思うが、現職教員の立場としても、子どもの姿から客観的に支援方法を考えることができた。

児童一人一人を近い距離で、個別対応をきめ細かにしていただいた。そして、その様子を伝えていただくことで担任もそれまで気づけなかったその児童の長所や問題点を知ることができた。

## アシストチームとは？

学部生・教職大学院生・専攻科生・大学教員等から構成されており、学部生が学校でアシスト活動を行った後、その学校現場の課題解決に向けたカンファレンスを共に行うチームのこと



令和4年度

# 子どもと教師の成長を結ぶ 教育評価研修会

## —OPP シートによる学習・指導と評価の一体化—

学習・指導と評価の一体化を可能にし、授業方法の改善につなげていくための方法であるOPPA（1枚ポートフォリオ評価）についての研修会です。

今年度、OPPAの基礎的な理論や事例を紹介する「基礎研修会」とより実践的な演習やグループワーク等を中心とした「応用研修会」を実施する予定です。

【日時・会場】

### ○峡東会場：令和4年8月1日（月）

東山梨合同庁舎101会議室

- ◆基礎研修会 13：00～14：50
- ◆応用研修会 15：20～17：10

### ○峡南会場：令和4年8月2日（火）

富士川町民会館

- ◆基礎研修会 13：00～14：50
- ◆応用研修会 15：20～17：10

### ○富士東部会場：令和4年8月9日（火）

南都留合同庁舎4F大会議室A

- ◆基礎研修会 13：00～14：50
- ◆応用研修会 15：20～17：10

【講師】元山梨大学副学長・理事 堀 哲夫 氏  
法政大学生命科学部生命機能学科 准教授 辻本 昭彦 氏

【司会】山梨大学教育学部長 古家 貴雄

【参加費】無料

【対象者】小・中・高・特別支援学校の「やまなし教員等育成指標」第1～3ステージの教員

【主催】山梨大学教育学部 【共催】山梨県総合教育センター

【申込み】本研修は、山梨県総合教育センターの研修一覧に「外部共催 No.911・912 研修」として組み込まれていますので、申込みは、必ず山梨県総合教育センターHPで行ってください。なお、期限後の申込については、山梨県総合教育センター研修指導課に直接ご相談ください。

【申込期限】6月15日（水）

【問い合わせ先】山梨大学教育学域支援課総務グループ TEL：055-220-8103

山梨県総合教育センター研修指導課 TEL：055-262-5871

e-mail：[akio.s@kai.ed.jp](mailto:akio.s@kai.ed.jp)

どちらの会場も研修内容は同じです。  
都合良い方にお申込みください。  
基礎研修会と応用研修会のいずれか片  
方に参加することも、両方に参加するこ  
とも可能です。

